

CASBEE

新築

(簡易版)

建築物総合環境性能

評価システムによる

評価結果

■使用評価マニュアル:

CASBEE-新築(簡易版)2006年版

■使用評価ソフト:

CASBEE-NCb_2006(v.1.1)

作成日

2007年5月9日

作成者

1900/1/0

確認日

2007年5月10日

確認者

1900/1/0

(1) 建物概要

建物名称

(仮称)伏見区横大路新築工事

敷地面積

2,816 m²

建物用途

集合住宅

建築面積

801 m²

建設地

京都府京都市伏見区横大路三栖

延床面積

6,709 m²

気候区分

地域区分IV

階数

地上14F

地域・地区

準工業地域

構造

RC造

竣工年

2008/11/中 予定

平均居住人員

332 人

年間使用時間

8,760 時間/年

(2-1) 環境性能評価結果 (バーチャート)

注1

Q 建築物の環境品質・性能 (居住環境のアメニティを向上させる性能評価)

SQ= 3.5

Q-1 室内環境

スコア(評価点): SQ1 = 3.5

Q-2 サービス性能

スコア(評価点): SQ2 = 3.6

Q-3 室外環境 (敷地内)

スコア(評価点): SQ3 = 3.5

LR 建築物の環境負荷低減性 (環境負荷を低減させる性能評価)

LR-1 エネルギー

スコア(評価点): SLR1 = 3.7

LR-2 資源・マテリアル

スコア(評価点): SLR2 = 2.9

LR-3 敷地外環境

スコア(評価点): SLR3 = 2.1

(2-2) 環境性能評価結果 (レーダーチャート)

注1

Q-2 サービス性能

Q-1 室内環境

Q-3 室外環境 (敷地内)

LR-1 エネルギー

LR-2 資源・マテリアル

LR-3 敷地外環境

(2-3) 環境性能効率 BEE

注2

$$BEE = \frac{\text{建築物の環境品質・性能 } Q}{\text{建築物の環境負荷 } L}$$

$$= \frac{25 \times (SQ - 1)}{25 \times (5 - SLR)}$$

$$= \frac{63.6}{48.7} = 1.3$$

(3) 建築物の総合的な環境性能とは別枠の重要評価項目

注3

(3-1) 建築物の代表的な環境負荷に関する定量的な評価指標

年間延床面積あたり指標

人・時間あたり指標

年間延床面積あたり削減量

削減率 %

0 10 20 30 40 50 %

運用エネルギー消費量

MJ/年m²

MJ/人時

MJ/年m²

削減率 %

運用CO₂排出量

kg-CO₂/年m²

kg-CO₂/人時

kg-CO₂/年m²

削減率 %

水消費量

m³/年m²

m³/人時

m³/年m²

削減率 %

LCCO₂排出量

kg-CO₂/年m²

kg-CO₂/人時

kg-CO₂/年m²

削減率 %

LC廃棄物量

t/年m²

t/人時

t/年m²

削減率 %

LC資源消費量

t/年m²

t/人時

t/年m²

削減率 %

(3-2) デザインプロセスの評価

設計段階

有資格者による設計

建設段階

環境管理計画

凡例

Q: Quality

L: Load

LR: Load Reduction

SQ: Score of Q category

SLR: Score of LR category

BEE: Building Environmental Efficiency

備考

注1: 当該対象区における標準的な計画の得点が3点。NAは評価対象外とした項目を示す。敷地選定に関わる評価は対象外。

注2: Qは、環境品質・性能(Q)のスコアSQ(Q-1、Q-2、Q-3のスコアにそれぞれの重み係数を乗じた合計値)から算定。

Lは、環境負荷低減性(LR)のスコアSLR(LR-1、LR-2、LR-3のスコアにそれぞれの重み係数を乗じた合計値)から算定。

注3: (3)の評価はオプションとし、実施設計段階および竣工段階で可能な範囲で記入する。